

「感染しない」「感染させない」を合言葉に コロナに負けないぞ！

有田史談会 月例通信

事務局 中村貞光

090-4740-4752

坂井会長からのメッセージ♪

■ 8月21日、生涯学習センターで「まなびーキッズ教室」の拓本教室が行われました。参加児童は有田小、中部小1～6年生30名で5班に分かれ、れきみんのメンバーも2名ずつ班ごとに分かれて作業のお手伝いをしました。文化財課の永井、伊達さんの概要説明の後、10円玉と古銭の乾拓、湿拓のあと縄文土器の湿拓を行いました。手伝う方も自分の孫のように親しみが湧き一生懸命教えていました。

拓本が終わり後片付けの折、小学生が大人に混じり机の汚れを拭き、自分より重い椅子をよろめきながら片付ける姿を見て感動しました。有田の将来はこの子らに引き継がれていくのだと思い嬉しくなりました。

朝晩めっきり涼しくなってきました。読書の秋、コロナ対策をしながらお互いに頑張りましょう。

坂井勝也

黒髪山伝説大蛇退治と地名

栗山慎悟

【白川の池】しらかわのいけ。

【今池】いまいけ。

『白川の池』とも、『今池』ともいう。有田ダムと有田小学校の中程の白川川の一部をいい、川に架かる橋を『今池橋』という。

大蛇が棲んでいたと伝わる池。白川の池の畔にやぐらを組み万寿姫を座らせ、万寿姫を食おうと池からでてきた大蛇を鎮西八郎為朝が強弓で退治した。大蛇伝説では、満々と水を湛え大蛇が棲んでいたと伝わるが、水量は少なく川底も見え大蛇が棲めるような広さも深さも無い。白川の地名の由来は、「溪流九十九故に白川という」（『佐賀県案内』）とあるが、清らかな水が流れる川に付けられる名称でもある。白川川の激流に岩が削られた淵を指して『今池』という。

【評定場】ひょうじょうば。

黒髪山の麓の広場。昭和15年（1940）町民運動場が建設されたが、現在は有田ダムの底に沈んでいる。鎮西八郎為朝と武雄の領主後藤高宗が大蛇退治の会議を開いた広場。ここで美しい娘をおとりにしようと決議された。

【八阪神社】やさかじんじゃ。有田町中の原。

祭神 武速素盞鳴命（たけはやすさのおのみこと）
二条天皇（1158～65）より大蛇退治の勅命を受けた鎮西八郎為朝が大蛇退治の成功を祈願した神社。

《参考資料》

『黒髪山めぐり』北島磯舟著

『佐賀の伝説』日本標準

『黒髪山大蛇退治』浦郷博義著



白川の池は、白川墓地の前を流れる川に架かる橋の下辺りをいう。

事務局の独り言(▽▽)

■ 例会が中断して早1年半、コロナ禍で会合が出来ないのは寂しい限りです。リモートでの例会開催を目指して3月に開設したグループLINEですが、参加者が少なく中断したままです。現在登録済みの方は、井手さん栗山さん山口さん鶴一さん大串さんの5名で、招待中の方は伊良皆さん前田さんの2名です。馬場さん鶴美さん中原さんも参加をお願いしますね。

さて、ワクチン接種はお済でしょうか？ 一時期はワクチンの副反応について心配する声が多く聞かれ、接種を控える方が多くみられましたが、専門家の意見や安全性が理解され接種率はかなり高くなりました。

今後も感染拡大が懸念され、3回目のワクチン接種も始まりそうです。収束にはまだまだ月日が掛かると思われませんが、「感染しない！感染させない！」を合言葉にもうしばらく頑張りましょう。

来年2月には、名護屋城博物館での家田館長による講演「国交回復以後の日朝陶磁器交流」が予定されています。希望者のみでの実施になるかと思いますが参加を検討しています。コロナが落ち着いていることを祈るばかりです。